

資料 5

今後の対応について（案）

<専門調査会における検討状況等>

- 当専門調査会では、平成28年5月に策定された「女性活躍加速のための重点方針2016」に基づき、いわゆる「JKビジネス」及びアダルトビデオ出演強要問題について、本年6月以降、4回にわたり、民間団体、有識者、関係省庁からヒアリングを実施。
- これまでのヒアリング等を踏まえ、専門調査会として、本年度内を目途に、現状と課題について整理。

（参考1）女性活躍加速のための重点方針2016（平成28年5月20日すべての女性が輝く社会づくり本部決定） 抜粋

Ⅱ 女性の活躍を支える安全・安心な暮らしの実現

1. 女性に対するあらゆる暴力の根絶

女性に対する暴力は重大な人権侵害であり、女性が安心して暮らせる環境を整備することは、女性活躍の推進のための大前提となるものである。女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けた取組を強力に進めていく。

（4）女性に対する暴力の予防と根絶のための基盤づくり

①（略）

児童の性に着目した新たな形態の営業など、若年層を対象とした暴力の多様化を踏まえ、その実態把握に取り組むとともに、若年層に対する啓発活動、教育・学習の充実を図る。（後略）

（参考2）

① 第82回会議（6月30日（木）開催）

〔AV出演強要問題関係〕

- ・ 国際人権NGOヒューマンライツ・ナウ
- ・ ポルノ被害と性暴力を考える会（PAPS）
- ・ NPO法人人身取引被害者サポートセンター ライトハウス

〔JKビジネス関係〕

- ・ 一般社団法人 Colabo（コラボ）
- ・ 特定非営利活動法人 BOND プロジェクト
- ・ 愛知県

② 第83回会議（9月12日（火）開催）

〔AV出演強要問題関係〕

- ・ 青山 薫 神戸大学大学院国際文化学研究科教授（社会学）
- ・ 矢野恵美 琉球大学大学院法務研究科教授（刑事法）

〔JKビジネス関係〕

- ・ 警察庁（生活安全局少年課）

③ 第84回会議（11月15日（火）開催）

（有識者）

- ・ 小西聖子 武蔵野大学人間科学部長（心理学）

（関係省庁）

- ・ 警察庁（生活安全局保安課）、文部科学省、厚生労働省

④ 第85回会議（12月13日（火）開催）

（民間団体）

- ・ 一般社団法人 セーフティーインターネット協会

（関係省庁）

- ・ 総務省、法務省（人権擁護局）

<現状と課題の整理の骨子案>

○仮題；若年層を対象とした性暴力の実態

～いわゆる「JKビジネス」及びアダルトビデオ出演強要問題の現状と課題～

○骨子案と記載すべき事項（たたき台）

骨子案	記載すべき事項
はじめに	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">I JKビジネスの状況</div> 1 JKビジネスとは ----- 2 被害状況 ----- 3 JKビジネスの被害者の状況	○いわゆる「JKビジネス」の内容、営業形態、危険性等について記載する。 ○検挙状況、被害者の補導状況、警察や民間団体への相談事例等について記載する。 ○被害に至る背景、被害者の行動の傾向、被害による影響等について記載する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">II AV出演強要の状況</div> 1 AV出演強要とは ----- 2 被害状況 ----- 3 AV出演強要の被害者の状況	○AV出演強要の内容、危険性等について記載する。 ○検挙状況、警察や民間団体への相談事例等について記載する。 ○被害に至る背景、被害者の行動の傾向、被害による影響等について記載する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">III 取組状況</div> 1 行政機関 (1) 法令に基づく厳正な取締り等の推進 (2) 教育啓発 (3) 相談体制 (4) 保護・自立支援	○関係省庁及び地方公共団体の取組について記載する。 ※法令に基づく厳正な取締りと補導活動、条例の整備等 ※若年層・保護者等に対する教育啓発等 ※相談対応等 ※児童相談所、婦人相談所等による一時保護、保護、自立支援等

骨子案	記載すべき事項
2 民間団体	○民間団体の取組について記載する。 ※相談、同行支援、自立支援等 ※インターネット上の違法・有害情報への対処等
3 業界団体・関係者団体	○AV関係団体の取組について記載する。 ※事務局にてヒアリングを実施
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">IV 研究者による問題提起</div> 1 社会学の立場から 2 刑事法学の立場から 3 心理学の立場から	○有識者の発表内容を記載する。 ※神戸大学大学院国際文化学研究科 青山薫教授 ※琉球大学大学院法務研究科 矢野恵美教授 ※武蔵野大学人間科学部長 小西聖子教授
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">V 国民や若年層の意識</div>	○世論調査等の調査結果について記載する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">VI 今後の課題</div>	○ヒアリング等を踏まえた、今後の課題について記載する。 ※各種法令による取締り等 ※教育啓発 ※相談体制 ※保護・自立支援 ※更なる実態把握について 等
おわりに	